

# わたしたちにできること

## ～水俣から 自分に 地域に 地球に 未来に～

総合的な学習の時間

### 1 題材について

環境問題は、命や人権を脅かす問題でもある。概念理解が進み、抽象的思考が深まる小学校高学年において、世界各地で起きている環境問題の現状や原因、自分たちの生活とのつながりを学んだ上で、人類の未来に責任を負うという視点から認識を深めさせ、共に生きるために自分ができることを考えさせることが重要である。

また、互いに協力しながら調べ学習を行うことにより、熊本県における重要課題である「水俣病をめぐる人権」について正しい知識を身に付けるとともに、命や人権を大切にし、環境を守ってきた水俣の人々の生き方や願いを受け止め、共に生きる社会の実現に向け、自分たちの生活を見つめ直し、具体的な行動に移していこうとする態度を養う。

### 2 主な題材のねらい

◇水俣病問題や他の環境問題について主体的に調べ、共に生きるために自分にできることを考え行動していこうとする。

◆人や自然と共に、より良く生きるために、人権を守り、環境のことを考え行動しようとする。  
＜価値的・態度的側面＞

### 3 指導のポイント

○環境問題を自分のこととして捉え、児童自らが学習課題を追究するよう、事象提示などを工夫するとともに、児童の普段の生活を把握し、自分たちの生活とのつながりに気付くことができるよう支援を行う。

○環境問題についての調べ学習では、学習に必要な情報を教師が準備し、児童に選択させるようにする。特に、水俣病問題についての調べ学習では、資料等の取扱いに配慮し、正しい知識や人々の生き方や願いを学ぶことのできる資料を用意する。

○単なる知識上の理解でとどまらないよう、また、「共に生きる」という視点から外れないよう、適切な指導を行う。

○自他を認め合い、共に生きる社会の実現に向かおうとする意欲を高めるために、グループで協力して調べたり、発表を評価し合ったりする活動を多く取り入れる。

4 学習の概要（23時間取扱い） ※   → 「6 展開例」で示した学習

学習内容	指導上の留意点
<p>1 オリエンテーション（1時間） ○テーマ「わたしたちにできること」についての学習の見通しを持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の環境問題や水俣市の環境保全の取組についての資料を提示する。</li> <li>・フィールドワークを行うことを知らせる。</li> </ul>
<p>2 世界の環境問題について調べよう。（5時間）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題の現状や原因を調べるため、興味を持った環境問題ごとにグループを編成する。また、自分なりの意見を持てるようにする。</li> </ul>
<p>3 水俣市の取組に学ぼう。（15時間） ○水俣病問題について調べよう。 ①調べる。 ②まとめる。 ③発表し合う。 ○フィールドワークに行こう。 ①計画を立てる。 ②フィールドワークを行う。 ・資料館見学、語り部の講話 ・環境センター見学 ○みんなに伝えよう。 ①学習をまとめる。 <span style="background-color: #ccccff; padding: 2px;">②中間発表会をする。</span> ③人権集会（高学年）で伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の取扱いに配慮し、教師の準備した資料から選択して調べるようにする。</li> <li>・水俣市の取組や水俣病問題について、協力して主体的に学習できるよう支援する。</li> <li>・水俣病資料館や環境センターでの講話及び資料を通して、自然環境、命や人権を守るための取組や人々の思いに学べるようにする。</li> <li>・語り部の話は単に知識理解でなく、自分のくらしと重ねることができるようになる。</li> <li>・フィールドワークで調べたことを中心に、目的意識を持ち、効果的な表現方法で伝えることができるよう支援する。</li> </ul>
<p>4 自分たちにできること。（2時間） ○行動計画を立てる。 ○実践する。（※総合的な学習の時間以外の日常生活等も含む） ○振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「共に生きる」という視点から、日常生活や学級の間人間関係など見つめ、自分たちにできることを考え、行動できるよう支援する。</li> <li>・実践したことを人権コーナーに掲示するなど互いに認め合える環境を整え、意欲を高める。</li> </ul>

5 準備

- フィールドワークの連絡・打ち合わせ（申込を含む）
- 世界の環境問題、水俣市の取組、水俣病をめぐる人権に関する学習資料
  - ・図書
  - ・インターネットのホームページ
  - ・記事
  - 等
- 学習シート
- フィールドワークのしおり

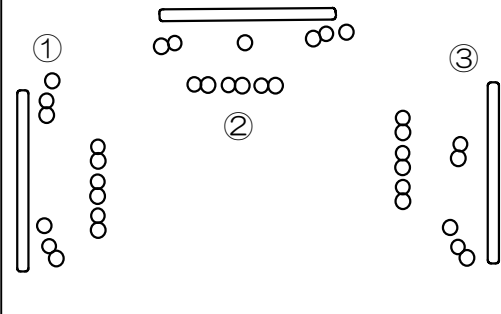
## 6 展開例（2時間取扱い）

体験的な学習

### <目標>

◇グループで協力し、フィールドワークや調べ学習で学んだことを工夫して伝えることができる。

◆友だちの発表を聞き、よさや気づきを伝え合うことができる。 <技能的側面>

主な学習活動	○教師の支援 ◇◆評価	備考
<p>1 本時の学習の流れをつかむ。</p> <p>フィールドワークや調べ学習で学んだことを伝える工夫をしよう。</p>	<p>○今まで調べまとめたことを発表していくことを確認する。</p>	
<p>2 中間発表会を行う。</p> <p>&lt;発表例&gt;</p> <p>&lt;中間発表の流れ&gt; 発表グループと聴き役グループに分かれて行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 グループからの発表</li> <li>2 質疑応答</li> <li>3 発表で良かった点の発表</li> <li>4 メモ</li> </ol> <p>※一巡したら、担当を交代し、同様に行う。</p>	<p>○「中間発表の視点」を示し、発表や発表に対する質疑応答・意見が、ポイントからずれないように支援する。</p> <p>&lt;中間発表の視点（例）&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①伝えたいこと（人や自然と共に生きるために行動してきた水俣の人々の活動）がよく分かる。</li> <li>②分かりやすい言葉で説明している。</li> <li>③伝え方を工夫している。</li> </ol> <p>&lt;発表の場づくりの例&gt;</p>	<p>発表に必要なもの PC プロジェクター スクリーン 長机 指示棒</p> <p>学習シート</p>
 <p>① ② ③</p>	<p>【発表方法例】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① PCを使った発表 「水俣病を正しく知ろう」</li> <li>② ポスターでの発表 「新しい水俣づくり」</li> <li>③ 劇・紙芝居やクイズでの発表 「水俣に生きる人々」</li> </ol>	
<p>○発表への気づきをメモに書き、発表グループに渡す。</p> <p>3 発表を振り返り、改善点などについて話し合う。</p> <p>4 まとめ</p> <p>○感想を書く。 ○教師のまとめを聞く。</p>	<p>◆互いの発表を聞き、よさや気づきを伝えることができる。</p> <p>○メモを整理し、友だちの意見を生かして、発表方法を工夫できるよう支援する。</p> <p>◇発表会に向け、グループで協力し、伝え方を工夫することができる。</p> <p>○各グループの工夫を認め、発表への意欲を高めていく。</p>	<p>学習シート</p>

## 7 活用例

各学校の環境教育計画（全体・年間計画）に基づき、地域の実態等に応じた系統的・計画的な学習を行う。

## 8 資料

### <参考資料>

- ・「はじめて学ぶ水俣病」（熊本県環境生活部水俣病保健課発行）
- ・「水俣病とわたしたち」～公害や環境を学習することもたちのために～（水俣市立水俣病資料館編集・発行）

<発表したグループのメモ> ※評価欄は、「中間発表の視点」を◎、○、△で記入。

班へ _____ より					
①		②		③	

### <学習シート>

中間発表会	フィールドワークや調べ学習で学んだことを伝える工夫をしよう。
<自分でがんばったこと>	
<班でがんばったこと>	
<伝え合いをして気付いたこと・感じたこと>	